

機関紙 たいとう に  
皆様の記事を  
お寄せください!

# たいとう

東京土建一般労働組合  
台東支部  
〒110-0012 台東区竜泉1-15-2  
Tel (3876) 1966 Fax (3875) 5965  
(Mail) taitou@tokyo-doken.or.jp  
(HP) http://doken-taito.jp  
編集 遠藤 顕寛



場所を変更して講演を聞く教宣部の方々

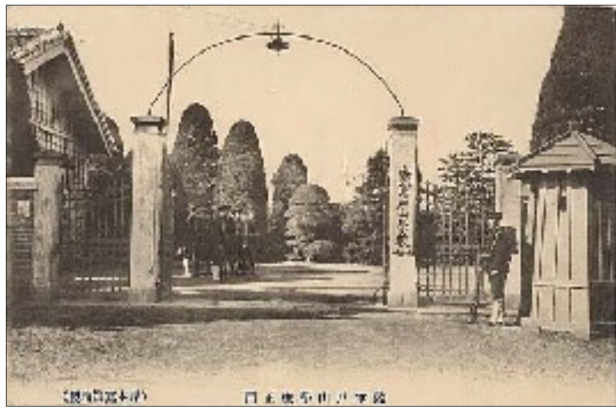
中国側からは、日本で七三一部隊展を開催するならば、資料提供の用意をする

7月19日日本部で教宣部会・兼「平和共同取材」が行われました。午前中は「陸軍軍医学校と人骨問題」、午後からは「沖縄基地問題」の二大テーマで講演がありました。

側は箱根山通りをはさんだ早稲田大学キャンパス近くの、国立感染症研究所、国立国際医療研究センターあたりまでの、戸山公園戸山町までの、広大な土地にかつては陸軍医学学校と、関連施設があったそうです。

一九八九年新宿戸山の、国立予防衛生研究所（現在、国立感染症研究所）建設現場から多数の人骨が発見されました。その場所は戦

時中に陸軍軍医学校があった場所です。同年9月新宿区議会が厚生省に再度身元調査依頼しましたが、同月厚生省は三度の拒否の回答となりました。



陸軍戸山学校正門

## 1989年7月 新宿戸山国立予防衛生研究所 建設現場から多数の人骨発見

## 台東区経理課交渉

毎年7月に行っている台東区経理課への交渉・申入れを12日に行いました。今年で4年連続となるこの交渉には、支部役員2名、書記2名が出席、台東区側からは経理課長と契約担当係長が出席しました。区側の課長、係長はどちらも新任です。



また、昨年の申し入れ時に要望した、「設計労働単価がアップして改訂されたことに関する通知はホームページ上だけでなく書面で改訂して受注会社へ渡してほしい」件については、今年度より組合の意向を尊重し書面で再通知している回答がありました。

受注した元請会社は、上昇した労働単価を改めて書面で目にするのとにより、労働者の賃金単価が上がっていることを再認識することになります。さらには区と元請会社だけの契約関係に終わらせずに、区が下請け会社へ積極的に関与させる仕組み

今回の平和共同取材はなかなか書き辛い事が多い。わずかなスペースに、どう納めるべきか、いかに無能かを改めて知る。どこをカットしても、中味が伝わらざらぬ。来月4ページ号への再掲載も視野にと、編集会議で提案も考えている。



五重塔

ただこの一点だけは歴史的客観性も十分に確かな石井氏の片腕人物が、あの薬害エイズのみドリ十字の創業者の一人だった。

後半テーマの講演は沖縄タイムス東京報道部の宮城栄作記者の、話の要点①我慢は限界を超えた②考えるべき事③地位協定の問題へこんだ主権が、回復されない④沖縄の問題ではなく日本の問題

以上四つのキーワードでの講演でした。

沖縄の主権（叫び）を戦中、戦後史に照らして理解する事。日本にとってここは何なのか。

地位協定では米軍人が犯した犯罪は日本の法で裁くことはできません。各国地位協定の比較は？主権者はどうなの。思い言葉です。

(E)

**参議院選挙の結果ができました。今回自公政権に勝つために民進・共産・社民・生活の各党の野党に共闘でのぞみましました。**  
**そして今回から18才以上の240万票の有権者が増えました。結果は与党圧勝で改憲勢力も三分の二と圧勝しました。今回の選挙結果について教員部員の皆様のご意見をいただきました。**

**18才の今後の意識改革に期待したい**

参議院選挙の結果については予想通りと言いか、やっぱり自民党なのかの思いだった。選挙結果について、テレビ番組では、色々な意見が出ていた。自民は改憲については触れず、経済政策を全面に出して、さらに強く推し進めて、もっと良くなると未来志向型の期待感を持たせる演説でアピールしていた。

一方野党側は、唯一安倍政権を始終非難し、これから先のビジョンや政策については、これといった具体策も少なく、有権者の意識に届く事が無かったようだ。現状維持で、今の状況が、少しづつでも良くなっていくのなら、自公政権にまかせていけば良いのではないかという思いが、国民全体に広まった結果ではないだろうか。

選挙の度によく言われることだが、日本人気質や体質で風土的に、急激な変革を好まないのではないのか。

自民党から民主党に政権が移ったが、その時感じた事は、政権を担っていくことに慣れていないと思っただけ。もう少し続けていけば、それなりに運営しているだろうと思っていたが、次の選挙であつさり敗北してしまった。

理由の一つとして東日本大震災後の対応のまずさにつきると思う。どの党があの時政権を担っていても同じような結果になっていたのでは無いだろうか。現に自民党に政権が代わっても、復興は進んでいない。

政権が代わったから世の中が、急激に変化する事はそうは無い。少しづつ変化していくのだ。政権が民主党に代わった時にも少し長い目で見れば、日本も二大政党政治に変わり、国や国民がもう少し大人になっていったのではないかと個人的に思う。

今回の選挙結果について現状維持を望む声があつたのは、政権が代わってもそれ程世の中が目に見えて変わるわけではない。それ

**覚めた国民 静かな勝利**

第24回参議院選挙の投票率は推計で54%を若干超えた。前回2013年参議院選挙の52.61%と同程度の低い得票率でアベノミクスの是非が大きな争点となった。

野党は、改憲勢力が憲法改正の発議に必要な3分の2の議席を取ることを阻止する方針を掲げたが争点に位置づけすることができなかった。

安倍自民党は2012年12月の衆議院選から国選4連勝となり、任期は18年9月迄となっています。佐藤栄作・吉田茂両元首相に次いで

で、戦後3位の長期政権が視野に入ってきた。だが国民の間に熱気や高揚感はない。低い投票率が物語っている。静かな勝利だ。

本日に国民にとつてはショックな出来事だ。内外にあふれる難題が一朝一夕に解決しないことは、国民は理解している。全世代を将来への不安と不安定が覆っているようにだ。

その主因が少子高齢化であることが明白でありながら、何年も待機児童問題一つ解決できていない。

英国が欧州連合（EU）離脱を決めて以降、世界経済の先行きは、不透明感を増している。バンングラデシュの首都

だ。戦後3位の長期政権が視野に入ってきた。だが国民の間に熱気や高揚感はない。低い投票率が物語っている。静かな勝利だ。

本日に国民にとつてはショックな出来事だ。内外にあふれる難題が一朝一夕に解決しないことは、国民は理解している。全世代を将来への不安と不安定が覆っているようにだ。

その主因が少子高齢化であることが明白でありながら、何年も待機児童問題一つ解決できていない。

英国が欧州連合（EU）離脱を決めて以降、世界経済の先行きは、不透明感を増している。バンングラデシュの首都

**低投票率 棄権者に疑問**

今回の参議院選挙は「改憲四党」で162議席を確保するのが最大の感心事だった割にはあまりにも盛り上がりなかつた様に感じた。投票率は54.61%だったが前回の52.92%を超えたが前々回の57.92%には届かなかつた。今回から有権者となった18才、19才がどんな反応を見せるのか大変興味があつた。

18才は51.17%、19才は39.66%の投票率で平均を下回つたのは予想外だった。学校教育でどう教えているの

で、戦後3位の長期政権が視野に入ってきた。だが国民の間に熱気や高揚感はない。低い投票率が物語っている。静かな勝利だ。

本日に国民にとつてはショックな出来事だ。内外にあふれる難題が一朝一夕に解決しないことは、国民は理解している。全世代を将来への不安と不安定が覆っているようにだ。

その主因が少子高齢化であることが明白でありながら、何年も待機児童問題一つ解決できていない。

英国が欧州連合（EU）離脱を決めて以降、世界経済の先行きは、不透明感を増している。バンングラデシュの首都

**与党で三分の二 現実を直視**

7月10日に参議院選挙の投票票があり、結果はみなさんご存じの通りとなりました。

私は期日前投票でしたが、仲間の皆さんはどうだったでしょう。

参議院と辞書を引くと日本の国会の両院の一つ、衆議院より権限は弱いが行き過ぎを正したり補正したりする働きをすることがあります。「行き過ぎ」を正したり補正する事が、現実の国会でどうなっているのか。衆参で過半数どころか、三分の二を、与党政権が占めてしまった事実には私たちが国民一人一人はきちんと見つけていく正念場ではないでしょうか。

松が谷分会 遠藤 顕寛

もつと細かく見ると18才男子が49.04%、女子が53.01%で19才男子が37.31%、女子が42.11%とどちらも女子のほうが投票率が高かつた。

昭和52年生まれの娘の小学校当時のことを思い出した。小学校の時運動会で応援団が全女子だった事や、女性が運転するバイクの後ろでしがみついている男を見た時に、日本の将来はどうなるのかと心の底から不安に思つた事を鮮明に思い出しました。

あの頃から男子の無気力化が始まつていた

ダツカををはじめ各地でテロ事件が相次いでいるが、東京五輪を控えて深刻な問題である。安倍首相には、強固な政権基盤をもとに国際的リーダーシップを発揮して、これからの課題に的確に対応してほしい。政争などしてほしくない。

「政治とカネ」などで不祥事を重ねた割りに不思議な結果であつた。まやかしの希望はもう要らない。国民が待っているのは、陽光と温度を伴った脱デフレの春だ!!

上野分会 本山美智子

のだろう。肉食系女子に草食男子と言われているが日本の将来はどうなるのか不安になつてしまう。

その反面身近では30年振りに選挙に行つたとの声も聞いた。最近会つた団塊世代では80%が投票に行つたと答えていた。

私が小学生の頃から両親は必ず投票に行つてた。有権者になったからには投票するのは当然と思つて生きてきたのに権利行使しない人の気持ちが理解できない。

松が谷分会 今井 彰



**北海道 ツーリング旅行**

松が谷分会 今井 彰

北海道8日目は羅臼の山ちゃんていくら井の朝食から始まつた。これでもかと言うほどいくらが盛られていて終り頃にはイクラばかり食べていた。網走まで行きたかつたが帰りのフェリーに乗るまで3泊しか残ってない。最後の宿泊地は札幌と決めてあるので一周は断念し、旭川から富良野を抜けるコースに変えた。

宿で知り合つたライダーに開陽台展望台だけは行くべきと勧められていたので向つた。地球がマルク見えると昔からライダーが憧れる道内屈指の展望スポットらしい。標高270Mの丘にあり330度の大パノラマが広がっていた。

ここで噂に聞いていた5人組の爺さんライダーに逢つた。全員私より年上らしいが元氣そのもののグループの様だ。コースの都合上また摩周湖を通るが今回裏摩周湖となる。

足寄で宿を探せないときさらに50Km先になるので宿に連絡すると空いていた。これで安心して観光



することができた。表に比べると客も少なくゆつくり出来た。美幌から阿寒を通る山道なので車も信号も少なく予定より早く足寄に付いた。途中のコンビニで買ったサンドイッチで昼食を済ませラウンドライプインに到着。食事と宿泊の他に野菜等が売っていた。「三」と書かれたナンバーを付けた先客がい

夕食はジンギスカンだがまだ時間があるので部屋で荷物と今までの旅程の整理をしていると早く夕食を済ませてと声を掛けられた。食堂に行くとき先客はビール瓶を2本並べて食事は済んでいた。10分程会話しながら慌ただしく済ませた。ビール1本と宿泊代共で2950円だった。

先客はジンギスカンのお代わりもしたと聞いて整理などせず一緒にゆつくり話しかつたと悔やんだ。